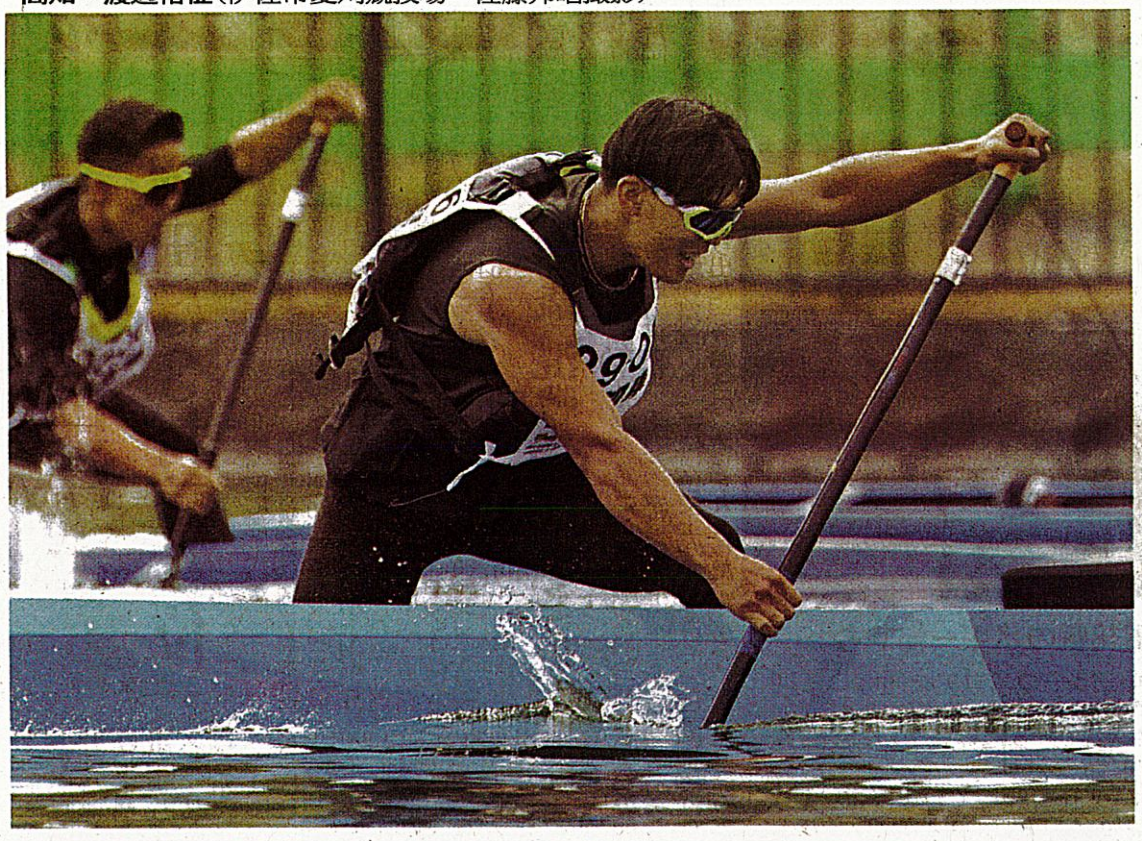
【少年男子スプリント・カナディアンシングル決勝】力強いレース運びで優勝を果たした高知・渡辺裕征（伊佐市菱刈競技場＝佐藤邦昭撮影）



渡辺 全力のこぎで圧勝

有言実行 2冠誓う

カヌー（伊佐市菱刈競技場ほか）

【成年男子】

▽スプリント・カヤックシングル（500㍍）決勝 ①棚田大志（奈良・吉本整形外科・外科病院）1分41秒866

▽スプリント・カナディアンシングル（500㍍）準決勝「1組」②長井海斗（須崎総高教）1分58秒730＝決勝進出

▽同決勝 ①永沼峻（宮城・永沼）1分51秒012⑧長井海斗1分57秒946

▽スラローム・カヤックシングル（25ゲート）①田中雄己（岐阜）80・74点③北村光希（高知工科大）87・38点

▽スラローム・カナディアンシングル（25ゲート）①山本圭悟（千葉）96・82点

【成年女子】

▽スプリント・カヤックシングル（500㍍）決勝 ①福田りん（香川・武庫川女大）1分58秒451

▽スプリント・カナディアンシングル（500㍍）決勝 ①久保田愛夏（岐阜・ぎふ瑞穂スポーツガーデン）2分16秒393

▽スラローム・カヤックシングル（25ゲート）①伊藤くるみ（東京）97・80点

▽スラローム・カナディアンシングル（25ゲート）①後藤紗世（栃木）146・95点

【少年男子】

▽スプリント・カヤックシングル（500㍍）準決勝「2組」②上野文象（鎮北高）1分53秒177＝決勝進出

▽同決勝 ①中岡誠琉（滋賀・北大津高）1分47秒221④上野文象1分50秒390

▽スプリント・カヤックペア（500㍍）決勝 ①島根（島根中央高）1分41秒181

▽スプリント・カナディアンシングル（500㍍）決勝 ①渡辺裕征（明徳義塾高）2分2秒492②田中（山口・高森高）2分3秒290③宇田津（宮崎・宮崎大宮高）2分6秒182

▽スプリント・カナディアンペア（500㍍）準決勝 ④高知（選抜＝下元、近沢）2分8秒254＝落選

▽同決勝 ①沖縄（選抜）1分55秒972

【少年女子】

▽スプリント・カヤックシングル（500㍍）準決勝「1組」⑦池田文香（鎮北高）2分20秒936＝落選

▽同決勝 ①成瀬あかり（愛知・岩津高）2分6秒849

▽スプリント・カヤックペア（500㍍）決勝 ①富山（富山北部高）1分58秒810

▽スプリント・カヤックフォア（500㍍）決勝 ①宮崎（宮崎商高）1分47秒357

8月、インターハイのカナディアンペア200㍍を制した時に「次はシングルと500㍍で日本一になる」と高らかに宣言していた渡辺。鮮やかに有言実行してみせた。

しかも、2位に0・798秒差。レース中は前しか見ない本人以外の県チーム関係者が皆、中盤には勝利を確信したほどの圧勝劇だった。

13日の予選では、インターハイのシングル500㍍で優勝をさらわれた松本（山梨・富士学苑高）が同組だった。予選で組1位になると、準決勝免除で決勝に進める。なので、渡辺は決勝と同じくらい全力でこいで松本を退け、狙い通りの1位通過を勝ち取った。

この日の決勝は、準決勝をパスできたことで温存した力を序盤から解き放った。「今まで負けたレースは後半勝負でいこうとして力を出せなかった。だから先行逃げ切りでいく。そのための練習はしてきた」。スタートから飛ばしまくった。後半に苦しくなっても、「踏ん張るしかない」と気力を振り絞った。ゴールして左右を見た。他の艇の姿はない。こぶしを突き上げ喜んだ。

より力を出せる200㍍のレースがまだ残っている。「2冠を取りにいきます」と、力強く誓った。この日4位だったカヤックシングルの上野も短い距離が得意で、「この悔しさをぶつける」と意気込む。県勢2人で表彰台の一番を狙う。夢は膨らむ。

（井上太郎）

高知新聞 10月15日